

# 利益につながる日経テレコン21

## 新市場攻略に役立つ情報が満載 ターゲットを発見・精査し 提案営業に生かす

第3回  
市場・業界を知る

取引先の拡大を使命としている中小企業にとって、ターゲットとなる業界の動向を把握することが、市場攻略の第一歩となる。そこで、大いに活用したいのが「日経テレコン21」。業種や業界の動向を簡単操作で素早く検索でき、確実に把握することができるからだ。今回は、市場攻略のための「日経テレコン21」の活用方法を、具体的事例とともに紹介していくことにしよう。

自社の商材を、特定の市場や業界だけではなく、新規顧客層に販路を拡大したいと願う中小企業は少なくない。特定の市場に依存するだけでは、企業としての成長は望めないからだ。

中堅パソコンメーカーのD社は、医療機器業界への売り込みを模索していた。が、業界の動向や課題を知らなければ、新規市場に参入することはできない。そこで、経営者が問題解決ツールとして選んだのが「日経テレコン21」だった。医療機器業界の記事情報を検索することで、その動向や課題などについて素早く把握することができる。

実際、同社は医療機器業界の情報を「日経テレコン21」で引き出し、最新動向だけでなく、課題や問題点についても理解を深めた。加えて攻め化できる。PDコードとは、飼料、砂糖、製粉、食用油、酒類など一三六の業界を指定する日経各紙に有効なキーワード



PDコード「PD092」(医家向け医薬品)を使って検索した結果(上)  
「クリッピング」にキーワードを登録しておけば、自動検索された結果をメールで知らせてくれる(左)

略先の企業の情報も「日経テレコン21」を活用して調べ、営業プランを策定した。

業界や個々の企業の課題を解決するソリューション営業を強化すれば、販路開拓が実現する。同社は躊躇することなく、課題解決のための検証を行い、医療機器メーカー固有のアプリケーションをインストールしたパソコンの大口販売に結実させた。「日経テレコン21」を導入し、ターゲットとする業界や企業の最新情報を



フルに活用した成果だった。

D社はその後、医薬品や介護・福祉業界などにも「日経テレコン21」を活用した同様の手法でアプローチ業界に合ったソリューション営業を展開することによって、パソコンの大口取引を実現させている。

中堅人材派遣会社のS社は、IT関連企業を主体に業績を伸ばしている。競争が激しい業界の中で、巧妙な戦略を駆使して派遣先企業を増や

ードだが、このコードを入力するだけで、知りたい業界の記事を抽出することができる。もちろん、その業界の主要企業がどうビジネスを展開しているのかも分かる。こうした記事を読むとおくとも業界を知る上で必要であることは言うまでもない。

また、攻略したい業界のPDコードを「クリッピング」として登録しておけば、最新の記事から条件に合う情報だけを自動検索し、その検索結果をメールで知らせてくれる。クリッピングとは、登録したキーワードに関連する記事や各種情報を自動的に抽出してくれる機能。これを利用すれば、業務効率も大幅にアップするのは間違いない。

「確かに便利なツール。しかし、コスト負担が大きいのでは…」という声も聞かれるが、それは杞憂に過ぎない。「日経テレコン21TKCサービス」(「FX2」のオプションサービ

しているからだ。その情報ツールとして積極的に活用しているのが「日経テレコン21」。

IT関連企業は大手が多く、「日経テレコン21」による検索で、企業情報が得やすいという利点がある。S社は、対象企業の情報を新聞記事検索や企業検索で収集。同時に、業界動向の記事検索も行い、対象企業を取り巻く業界環境にも注意を払っている。

さらに、記事検索から人事情報を入手するだけでなく、時には記事中の取材担当者から、対象企業のキーパーソンが誰かを判断し、迅速にアプローチしているのだという。

S社は、こうした事前の情報収集に基づいた対象企業への提案営業を行うことによって、派遣先企業を確実に広げている。「日経テレコン21」を、同業他社と差別化を図るための営業ツールとして活用しているといつてもいいだろう。

### PDコードで検索を簡便化

「日経テレコン21」の魅力は、どんなビジネスのテーマであっても、キーワード検索で簡単に必要な情報を抽出できるという点だ。膨大な情報の中から、必要な記事だけを抽出できるうえに、業界コードの「PDコード」を利用すれば、業界検索も簡

ス)を利用すれば、「日経速報ニュース」「日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJ記事検索(直近5年分)」「日経会社プロフィール」「戦略経営者」というコンテンツが、わずか三〇〇〇円(税抜き)の月額基本料金で無制限に閲覧できる(他のコンテンツは従量課金)。ちなみに、通常版「日経テレコン」の月額基本料金は八〇〇〇円(税抜き)だ。

「TKCサービス」では、前述のクリッピングも利用できる。見出しだけなら無料で確認することができる。その中から必要な記事だけを選択して閲覧すればいい。それだけでも業界動向は十分に把握できるはず。新市場攻略のカギは、いかに業界動向を把握し、課題を発見できるか。それを解決してくれるのが、「日経テレコン21」といっても過言ではないだろう。

(ジャーナリスト・川上清市)